新春のお慶びを申し上げます

中泊町社会福祉協議会
会長　白岩隆逸

明けましておめでとうございます。

ご家族皆様お健やかに新年をお迎えのことと心よりお祝いを申し上げます。

今年は「龍年」。町民の皆様が、この地に住んでよかったと思われるような一年でありますよう心から念ずる次第であります。

龍は想像上の動物ではあるが、インドや中国では、古来から人々を守護してくれる神秘的な生き物として崇められているようです。我が国でも、神の使いとして「龍神様」で親しまれ、特に漁師の方々からは、豊漁の神として信仰の対象になっておりますし、農家の方々からは、水をもたらす恵みの神として祀られている地域も少なくありません。そういう意味からも、わたしたちの生活と密接にかかわる「よき年」になるのではと期待を寄せているところであります。

さて、目を内外に向ける時、ヨーロッパでは経済危機に揺れ、国内では政治の不安定化で心穏やかではありません。又、各地で起こる凶悪犯罪も増加の一途をたどり、生命の尊厳の再教育に迫られた時代に直面しています。

少子高齢化、核家族化、経済不安定化による就職難等々、生活への不安材料の積み重ねが心の貧困性を助長しているのではないだろうかと思うこの頃であります。

古来から中国に伝わる格言に「没法子（メーファーズ）」というのがあるそうです。意味は「その時はだめでも、また立ち上がれば良いではないか。」という希望を与える言葉だそうです。焦らずコツコツと努力し、天命を待つ位の気概も必要かと思われます。

世は正に「人生八十年」の時代を迎えております。国内で百歳を超えた人は四万人超、青森県内には四百人余、長寿国家そのものであります。つまり「子どもがえり」「先祖がえり」が多くなりました。

お互い近隣同士の絆を強め、互いに支え合って助け合う時代に入りました。「地域福祉」が提唱され、向う三軒両隣が見直されてきたのもそのためです。お互いに声を掛け合い、誘い合い、二人三脚以上の絆を深めて長寿社会を維持していくように励みたいものであります。

当社会福祉協議会には、多くの物心両面のご援助をいただきました。その御高徳を無にすることなく地域福祉の活動に役立てる所存であります。

結びに、町民各位が干支の昇り龍以上にたくましく生き抜くようご祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。

〃福祉の心は
町民一人ひとりの
思いやり〃